

施策名：国内誘客の推進と海外誘客（インバウンド）の加速

事業名	担当課・室名	ページ
国内圏域別誘客促進事業	観光・地域局観光・地域振興課	2 / 7
MICE誘致推進事業	観光・地域局観光・地域振興課	3 / 7
東九州自動車道関連誘客促進事業	観光・地域局観光・地域振興課	4 / 7
インバウンド推進事業	観光・地域局観光・地域振興課	5 / 7
インバウンド観光産業基盤整備事業	観光・地域局観光・地域振興課	6 / 7
おんせん県おおいた周遊促進事業	観光・地域局観光・地域振興課	7 / 7

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	国内圏域別誘客促進事業		事業期間	平成25年度～平成27年度	政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進
総合評価	A	終了	事業実施課(室)名	観光・地域局観光・地域振興課	施策区分	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速
					評価者	観光・地域振興課長 阿部 万寿夫

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	福岡圏域、関西圏域、首都圏域の三大都市圏において、各圏域における本県の認知度や旅行形態などをふまえて、大分県観光に関するより積極的な情報発信や魅力的な旅行商品造成などの取組強化が求められている。	事業の目的	福岡圏域、関西圏域、首都圏域それぞれのニーズに応じた情報発信や営業活動の強化を行うことにより、圏域ごとのターゲットに対して効果的な誘客促進を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①福岡圏域 団塊世代や女性などに特化した効果的な情報発信等(旅行会社・マスコミ訪問73社) ②関西圏域 九州隣県との連携による効果的な情報発信等(旅行会社・マスコミ訪問28社) ③首都圏域 坐来大分を活用したサロン・商談会の開催(3回) 福利厚生サービス事業者やネット事業者と連携した誘客等(旅行会社・マスコミ訪問18社) 委託先：(公社)ツーリズムおおいた(一部委託)			総コスト	122,392	109,379	
			事業費	72,392	59,379	
			(うち一般財源)	59,692	59,379	
			人件費	50,000	50,000	
			職員数(人)	5.00	5.00	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題
	坐来サロン・商談会(回)	目標値		3	2			
実績値			9	3		3		
達成率			300.0%	150.0%		150.0%		
旅行会社・マスコミ訪問件数(回)	目標値		100	100		100		
	実績値		104	119		119		
	達成率		104.0%	119.0%		119.0%		

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果
	県外からの宿泊客数(20年を100とした目標)	目標値		105	106			
実績値			113	116		116		
達成率			107.6%	109.4%		109.4%		

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・平成28年度から実施する「国内誘客総合対策事業」により、エリア毎に強みを活かした戦略的な国内誘客やプロモーションを実施				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	MICE誘致推進事業		事業期間	平成25年度～平成27年度	政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進
総合評価	C	終了	事業実施課(室)名	観光・地域局観光・地域振興課	施策区分	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速
					評価者	観光・地域振興課長 阿部 万寿夫

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	ビーコンプラザ、iichiko総合文化センター、大分銀行ドーム等の大型施設に加えて豊富な温泉、魅力的な食をもつ本県のポテンシャルを活かして、経済波及効果の高いMICEの誘致を推進することが求められており、大分県ツーリズム戦略における団体誘客の柱の一つとして位置づけられている。	事業の目的	大規模な学会、スポーツ大会等の誘致やきめ細やかな開催支援を行うことにより、MICE開催地としての大分の認知度向上を図るとともに、MICEによる経済効果の増大を目指す。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①MICE誘致の推進 MICE関係ホームページの更新や商談会への参加 開催助成費補助の原資の積立て(MICE誘致推進事業費補助金：基金造成補助) 委託先：(公社)ツーリズムおおいた		総コスト	17,896	17,880	
		事業費	7,896	7,880	
		(うち一般財源)	7,896	7,880	
		人件費	10,000	10,000	
		職員数(人)	1.00	1.00	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	MICE商談会への参加(回)	目標値	1	2		2	a	・県内大学等と連携した大分県内のキーパーソンへの訪問数の増 ・福岡県や九州観光推進機構と連携したMICEの誘致	
		実績値	1	3		3			
		達成率	100.0%	150.0%		150.0%			
	MICE主催者等への訪問営業(回)	目標値	12	12		12			
		実績値	12	14		14			
		達成率	100.0%	116.7%		116.7%			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	県内主要4施設における500人以上かつ九州大会以上の大会開催数(回)	目標値	61	61		61	c	約1,000人泊となった東アジアハンドボールクラブや、約5,600人泊のスライドザシティなどが開催されたが、今後、一層のセールスと営業訪問に取り組んでいく。	
		実績値	67	48		48			
		達成率	109.8%	78.7%		78.7%			

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・平成28年度から実施する「団体誘客推進事業」により、引き続きMICE誘致活動を実施				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	東九州自動車道関連誘客促進事業		事業期間	平成26年度～平成27年度		政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	
総合評価	A		事業実施課(室)名	観光・地域局観光・地域振興課		施策区分	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速	
	終了					評価者	観光・地域振興課長 阿部 万寿夫	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	東九州自動車道開通により、移動時間が短縮となる広島県や四国四県など巨大商圏・瀬戸内エリアに向けた積極的な情報発信と誘客が求められている。	事業の目的	東九州自動車道の全線開通に向けて、中国・四国地方や福岡県からの誘客を促進するため、宮崎県や県内ツーリズム関係者等と連携し、多様な機会を活用しながら効果的に情報発信を実施する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①宮崎県との連携事業 両県の観光素材をテーマ別に紹介した共通パンフレット制作や共同セールス(3回)、大分・宮崎ドライブパス(7/18～12/26)の実施等 ②広島向け情報発信 広島カーブを活用したマツダスタジアムでのPR 委託先：(公社)ツーリズムおおいた		総コスト	16,309	21,288	
		事業費	11,309	16,288	
		(うち一般財源)	6,309	8,288	
		人件費	5,000	5,000	
		職員数(人)	0.50	0.50	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題
	共同セールス(回数)	目標値	3	3		3		
	実績値	3	3		3			
	達成率	100.0%	100.0%		100.0%			
大分・宮崎ドライブパス(回数)	目標値	1	1		1			
	実績値	1	1		1			
	達成率	100.0%	100.0%		100.0%			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果
	両県共通パンフレット作成(部)	目標値	20,000	15,000		15,000		
	実績値	20,000	15,000		15,000			
	達成率	100.0%	100.0%		100.0%			

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針	平成28年度から実施する「広域観光連携推進事業」により、東九州軸連携(宮崎県連携)や九州横断軸連携(熊本県及び長崎県連携)などによる情報発信と誘客を実施			

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	インバウンド推進事業		事業期間	平成27年度～平成	年度	政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	観光・地域局観光・地域振興課		施策区分	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速
						評価者	観光・地域振興課長 阿部 万寿夫

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	今後、国内経済の縮小が見込まれる中で、経済成長の著しい東アジアや東南アジアを主なターゲットとして観光客を誘致するためには、ターゲット市場を絞り込み、国・地域の特性やニーズに応じた情報発信・セールスを行うとともに、多言語対応など外国人観光客の受入態勢の整備が求められている。	事業の目的	海外に対して観光PR等の誘客施策を行い、本県を訪れる外国人観光客の増加させることで、地域経済の活性化と雇用機会の創出を図る。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①海外誘客・情報発信 海外旅行社へのセールス、県単独商談会の開催(台湾、ソウル) 海外商談会・旅行展への参加、旅行社・メディア等招請、ホームページ・SNS等による情報発信 ②外国人観光客受入態勢の整備 Wi-Fi環境の整備、多言語対応強化、二次交通対策、ショッピング環境の充実 委託先(公社) ツーリズムおおいた(一部委託)			総コスト		71,805	110,713
			事業費		41,805	80,713
			(うち一般財源)			80,713
			人件費		30,000	30,000
			職員数(人)		3.00	3.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	旅行会社セールス(回)	目標値			6	6		a
実績値				7				
達成率				116.7%				
海外メディア取材招請・受入れ(回)	目標値			22	22			
	実績値			20				
	達成率			90.9%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	外国人観光客宿泊数(人)	目標値			480,000	560,000		a
実績値				773,990				
達成率				161.2%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・増加している個人旅行の外国人客(FIT)に対応するため、海外でのプロモーションの実施による知名度の向上やきめ細やかな情報発信を行うとともに、多言語対応やショッピング環境等受入態勢の整備を推進 ・旅行業、宿泊業、運輸業のみならず小売業や飲食業など様々な業種におけるインバウンド対応に向けた機運醸成				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	インバウンド観光産業基盤整備事業	事業期間	平成27年度～平成27年度	政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進
総合評価	A	終了	事業実施課(室)名	観光・地域局観光・地域振興課	評価者
				施策区分	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速
				評価者	観光・地域振興課長 阿部 万寿夫

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	外国人観光客は、訪日前の旅行の情報源として個人のブログ、旅行会社ホームページ等を活用しており、また、滞在中にスマートフォンを利用して情報を入手している。	事業の目的	日本一の温泉や貴重な歴史文化、風光明媚な自然等の情報をあらゆる場面で提供することにより、大分県への一層の外国人観光客の取り込みを図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
①Wi-Fi環境整備 宿泊・観光施設等へのWi-Fi設置費用の助成 ②情報発信 台湾/現地TV放送、大型イベントでのPR、パワーブロッガー招請、商談会の開催 タイ/現地TV放送、ブログを活用したPR、現地旅行社の招請 委託先：(公社)ツーリズムおおいた		・商談会やメディア招請等を民間へ業務委託し、効率的かつ効果的に事業を実施		総コスト		286,956		
				事業費		266,956		
				(うち一般財源)				
				(うち繰越額)		266,956		
				人件費		20,000		
				職員数(人)		2.00		
活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	宿泊・観光施設等の「Onsen Oita Wi-Fi」の設置箇所数(箇所)	目標値		180		180	a	・様々な国・地域において、個人旅行が増加していることから、消費者に対して直接本県観光情報を提供していくことが重要 ・親日的で日本への訪問意欲が高いベトナム、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックを見据えた欧州等、新市場へのPRが重要 ・多言語対応や、免税店の増加によるショッピング環境の改善など、外国人観光客の受入態勢の整備も重要
		実績値		209		209		
		達成率		116.1%		116.1%		
	目標値							
実績値								
達成率								

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	外国人延べ宿泊客数(人)	目標値		480,000		480,000	a	海外での本県の旅行先としての知名度の向上や旅行商品の造成が図られたことで、外国人観光客数(宿泊者数)が、大きく増加している。 外国人観光案内所の増加、Wi-Fi環境の整備、多言語表示マニュアルの整備など、外国人観光客の受入態勢の整備が進んでいる。
		実績値		773,990		773,990		
		達成率		161.2%		161.2%		
目標値								

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・平成28年度からは「インバウンド推進事業」へ統合したうえで、ブロッガーや旅行会社を活用した情報の提供、Onsen Oita Wi-Fiを活用した多言語情報の発信等により受入れ基盤を強化				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	おんせん県おおいた周遊促進事業		事業期間	平成 27 年度～平成 27 年度		政策区分	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進
				施策区分	国内誘客の推進と海外誘客（インバウンド）の加速		
総合評価	A	終了	事業実施課（室）名	観光・地域局観光・地域振興課		評価者	観光・地域振興課長 阿部 万寿夫

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県内宿泊者数の増加及び関連消費の拡大を図る上で、おんせん県おおいたデザインーションキャンペーン（以下「DC」という。）等と連携した誘客を推進するとともに、DC期間終了後及び閑散期への対策を講じる。	事業の目的	DCの開催などを通じた消費拡大の取り組みを継続・発展させ、県内宿泊客数の増加及び関連消費の拡大を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）
①ネットクーポンの発行 ネット割引クーポンの発行 販売促進及び本県観光情報発信 効果測定のためのアンケート調査の実施	②観光客向け商品券発行 観光客向け商品券の発行 県内宿泊を伴う旅行商品への商品券付与、販売促進 効果測定のためのアンケート調査の実施 委託先：（公社）ツーリズムおおいた	・ネット宿泊サイト事業者と連携したクーポンの設定・展開の実施 ・ネット宿泊サイト事業者が有する媒体等を活用した効果的・効果的なPR展開 ・旅行会社と連携した観光プロモーションの実施		総コスト		505,938	
				事業費		495,938	
				(うち一般財源)			
				(うち繰越額)		495,938	
				人件費		10,000	
				職員数（人）		1.00	

活動指標	指標名（単位）	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成（年度）	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
アンケート回収数（件）		目標値		900		900	a	・事業で得られたデータの検証・分析を元にした戦略立案やマーケティングの実施 ・旅行会社との接点を最大限に活用した施策の構築	
		実績値		2,702		2,702			
		達成率		300.2%		300.2%			
商品作成した旅行会社数（社）		目標値		10		10	a		
		実績値		23		23			
		達成率		230.0%		230.0%			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名（単位）	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成（年度）	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
県内宿泊者数（千人）		目標値		5,200		5,200	a	商品券の発行等により大分県向け観光商品の魅力を向上させ、県内宿泊者数の増加が図られるとともに、観光客の県内での消費を喚起し、観光客の入込客数の増加による恩恵をより幅広い層に拡大できた。	
		実績値		6,080		6,080			
		達成率		116.9%		116.9%			

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	-----------	--------	--------	----

今後の事業方針

- ・本事業を契機に作り上げた旅行会社等との関係を継続・発展させる取組を実施
- ・全国に通用する人気観光地づくり、宿泊地を拠点に県内周遊を促す仕組みづくり等の推進